

練習に関するレギュレーション

本レギュレーションは、全ての出場選手が公平に練習でき、そして、より良いコースコンディションでプレーできることを目的に作成されています。そして、何よりコロナ対策を最重要課題と位置付けています(最新の変異株対策を含む。)

練習区域(練習場の打席・練習グリーン上・アプローチエリア・練習バンカー)と、練習ラウンドにおけるゴルフコース内に入ることができるのは選手とキャディーのみです。ただしカート運転手をする方や、コース側から入場を特別に許可された方はこの限りではありません。なお、練習は、指定された場所のみ許可され、以下のレギュレーションを適用します。

- 1 : 練習ラウンドは1人でプレーせず、2～4人でプレーしてください(保護者等の同伴プレーももちろん認められます。)。なお、1人での予約が認められた場合は、コースの指示に従ってください。
- 2 : バンカーからのストロークを含め、グリーンに向けて打てるのは1球のみとします。但し、以下の場合を除かれます。
 - a) ショットがグリーンに乗らなかった場合は、もう1球打つことができます。
 - b) バンカー以外のグリーン周りのアプローチは、グリーンまたはコースを著しく傷めないという前提でもう1球打つことができます。(但し、例えばティーから、暫定球以外のショットをすることは認めません。)なお、いかなる場合も、後続組を待たせない等前後の組に充分配慮してください。
- 3 : グリーン上でのパッティング練習については、複数球可とします。
なお、上記同様、いかなる場合も、後続組を待たせない等前後の組に充分配慮してください。
- 4 : ティーイングエリアを使用する場合、コース保護の観点からティーマークのないティーイングエリア(コース管理課で養生中など)からのプレーは、絶対に行わないでください。
- 5 : コース内ではネットやロープ等で保護してある場所には入らないでください。
また、ディボット戻しと目土、ボールマークの修復については、各自の責任において徹底してください。そのほか、グリーンを傷めるような練習(グリーンに線を引いたり、長時間同じ場所に立ってパッティングすることなど)は避けてください。
最近、目土袋をCBにぶら下げているだけ等のプレーヤーが散見されます。
- 6 : 練習ラウンドする際も、必ずマスクを着用して下さい(ショット・パット時を除く)。